

第6回 福田の歴史をを考えてみる会 1月14日(水)

「明治17年 暴風津波と千人塚に学ぶ」

講師:福田の歴史をを考えてみる会 運営委員 折田 宗一氏、藤井 健一氏

福田新開を直撃し、一夜にして大災害をもたらした暴風津波と、引き取り手のない身元不明の遺体を埋葬した千人塚について学びました。今回は運営委員(6名)の方々に調べたことを、代表して2名の方に説明していただきました。



<参加者の感想>

- ・県外から結婚でこの地に暮らし50年、福田の歴史を知る機会に愛着が増えています。
- ・先人たちの犠牲と努力によって、私たちはここで生活できることに感謝しかありません。
- ・「防災教育は実際の郷土にあった災害の実態を知ることから始まる」胸にしみる言葉だと思います。
- ・明治の時代においても、民間の支援が多くあったことに驚きました。
- ・このような史実は知る事が目的ではなく、それを後世の人間がどのように生かすかが重要な事だと思います。



ご案内

『福田の歴史をを考えてみる会』は「干拓の歴史、水害の歴史などを知ることにより、自分たちが住んでいる地域に愛着をもつ」という目的で2年前に発足しました。どなたでも参加していただけます。ご興味のある方は、福田南公民館までご連絡ください。次回の案内を差し上げます。

- ◆テーマ「きずこう人権 なくそう差別 すべての人に愛と笑顔のある明るい地域」
- ◆重点課題「地域に根ざした ふれあい町づくり」

福田南中学校区人権学習推進委員会総会開催

6月7日(土)18時30分から福田南公民館で、令和7年度人権学習推進委員会総会が推進委員、教育委員会関係者等の出席により開催されました。令和6年度事業実績報告及び決算・監査報告を行った後、新年度役員を選出し、令和7年度事業計画案・予算案について審議し、承認されました。

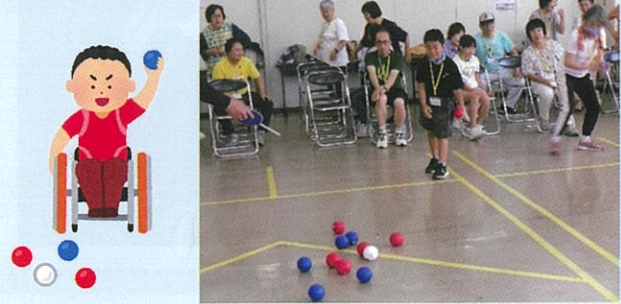


令和7年度 福田南中学校区人権学習推進委員・事務局員

事務局長	事務局員	委員	監査	副会長	副会長	副会長	会長																													
佐々木 美樹	石川 由美	平松 栄子	神崎 浩武	廣中 洋一	生中 一成	岸本 隆幸	板谷 英一郎	岸田 清誠	鳥越 俊彦	松井 俊彦	樋口 守仁	妹尾 一郎	枝木 茂	林 栄一	長谷 早苗	藤木 裕見子	山口 三枝子	尾越 雅彦	前野 智徳	河野 裕	吉田 敬治	千田 英明	井本 惠津子	岡田 美幸	小松原 賢久	日高 愛弓	原田 理伸	根馬 英弘	田中 弘行	巻尾 裕子	山本 直美	赤堀 幸代	瀬尾 浩子	中田 一宏	吉田 大輔	大島 十字

みんなで楽しくポッチャをしよう 7月5日(土)

昨年に引き続き、水島地区スポーツ推進委員会の方にご指導をいただき、「子どもたちの社会参加を考える会」の皆様と一緒にポッチャをしました。



《参加者の感想》

- やさしく教えてください、とても楽しくできました。初めて会った人たちとも仲良くできてよかったです。
- ルールも去年よりわかったので、大変楽しく盛り上がりました。老若男女入り混じって本当の交流ができたと思います。

公民館祭 10月25日(土)～10月26日(日)



～小・中学生へメッセージ～

人権学習推進委員の皆さんが、来館者をお願いして、人権作品の作者にメッセージを書いていただきました。



人権ポスター・標語・作文

第一福田小学校



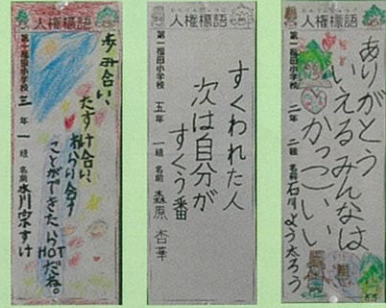
1年 山河 愛叶



4年 國安 葵衣



5年 平松 千花



第三福田小学校



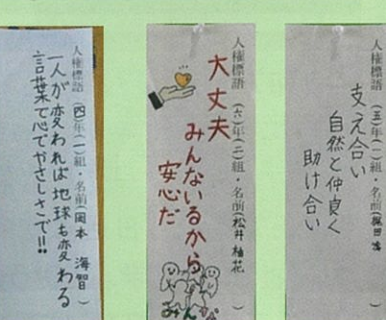
5年 中田 みさき



5年 石井 月彩



6年 馬場 桜来



福田南中学校



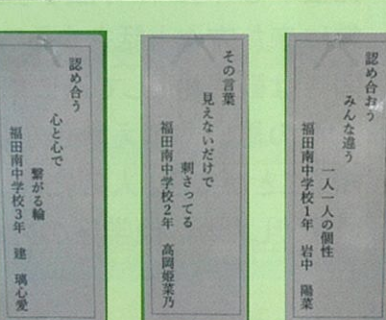
1年 高旗 杏奈



2年 山下 奈々実



3年 枝木 あゆめ

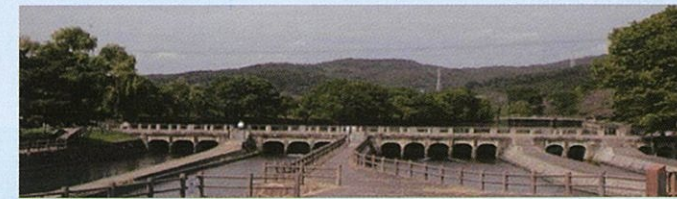
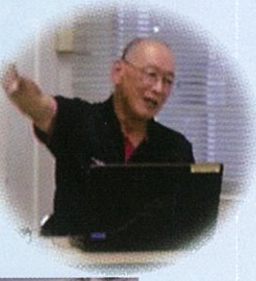


福田南公民館主催 人権教育講演会 9月6日(土)

高梁川改修工事と小田川合流点付替え事業

講師：高梁川東西用水組合副管理者 河野 裕 氏

100年前に行われた高梁川改修工事、昨年完成した小田川合流点付替え事業、そして高梁川東西用水組合についてお話していただきました。



★ 参加者の感想 ★

- ・100年前の高梁川一本化工事の画期的大事業で、現在の10ヶ郷ができ、あれから100年、真備町の思いもよらない大水害が発生、復旧のため小田川付替え工事が行われたとの認識程度くらいは思いましたが、関係者の講話によると度々災害があったとのことでした。幾多の改修事業が実施され現在の繁栄に至っているとのこと、この先人たちの労苦と努力の過程を今後伝えていかなければと思います。
- ・洪水が発生するので河川改修が必要になるという基本的な考え方にに基づき、4つの案があったことが新発見(M44年開始、T14年完成)。14年も続いた難工事を知る人が少なくなった今、この事業を傳承していくことが水害に対する理解を深める第一歩だと思います。

コンビナートクルーズ 9月27日(土)

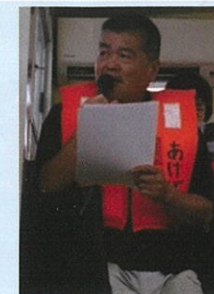
講師：福田南中学校区人権学習推進委員会 会長 大島 十字 氏

大島会長の説明で海の上から水島コンビナートを見ました。備前・備中の国境といわれた柄杓島・杓島も見ることができました。



★ 参加者の感想 ★

- ・大島会長さんの詳しい説明でコンビナート企業の様子がよく判りました。
- ・楽しみにしていたコンビナートクルーズに参加出来、知らなかった事ばかりでした。説明も上手にして下さり、水島コンビナートが発展した事がよくわかりました。



「思いやる心」

倉敷市第一福田小学校 六年 堀内 里桜

人は好きになる相手がちがいます。異性だけでなく同性を好きになる人もいます。私はだれを好きになってもいいと思います。

世の中には、同性愛者を「気持ち悪い」と口では言わないけど思っている人がいたり、冷やかしたりする人がいると思います。どうしてそういうことをするのだろうと思ったり。私は、それは異性を好きになるのをあたりまえだと思っているからだと考えました。

でも、人が人を好きになる「権利」があります。それを同性を好きになっただけで、否定されるのはとてもつらいことだと思います。否定している人たちも、好きになっただけで「やめたほうがいい」と言われたら、つらい、悲しい気持ちになるのに同性愛者を否定するのは、「想像力」がたりないと思います。

私は、友達と手をつないでいただけで、「二人とも付き合っているの？」と聞かれました。その人は、「ありえない。」という顔でいて、私はただ「仲良くしていただけなのに。」と想ったと同時に、はずかしくなって手をはなしてしまいました。でも、友達は、「だったらいいじゃないの。」とどうどうと聞いていて、私は、友達にも同性愛者の人にも申しわけないと思いませんでした。だからいつもどうどうとしていようと、だれがだれを好きになっても受けとめようと思えました。「付き合っているの？」と聞いてきた友達には、相手のことをちゃんと考えて言うべきだと思いました。

世の中には、「想像力」と「受け入れる心」がいると思います。私は自信がないですが、気をつけていこうと思いました。